

環境



豊かな自然と暮らしやすさを実感できるまち



誰もが自然を守り、育て、脱炭素に取り組み、
快適な生活環境を享受しているまちを目指します。

- 自然環境の保全・美化
- 生活環境の保全・美化
- 脱炭素を目指したまちづくり

2025



2029

定住・移住・仕事

安全・安心

子育て

教育

健康・福祉

市民協働

環境

都市

産業

行財政

88

自然環境の保全・美化



▶多様な主体が連携し、切れ目なく自然環境の保全・美化活動に取り組むことで、豊かな自然と生態系が次世代に引き継がれている

現状



- ▶ 人類の活動は地球の環境収容力を超過し、気候変動、生物多様性の損失、汚染の「3つの危機」に直面しています。本市においても、豪雨災害、農作物の生育不良、磯焼けによる漁獲高の減少などが懸念されます。
- ▶ 少子高齢化が進行し、自然環境の保全・美化活動を継続できる担い手が不足しています。
- ▶ さつき松原をはじめ、市内で松くいや竹害などによる森林荒廃などが進行しています。

課題



- ▶ 市民や環境活動団体、民間事業者などの多様な主体が、自然環境の保全・美化に取り組むことができる仕組みを整えていく必要があります。
- ▶ 豊かな自然を守るため、市民の意識醸成や新しい担い手の確保の必要があります。また、次世代へ引き継ぐためには、子どもたちへの環境教育の取り組みが必要です。
- ▶ さつき松原など松くい虫被害拡大防止のために防除に継続して取り組む必要があります。

主な取り組み

- 多様な主体間の連携・協働による自然環境の保全・美化活動の実施
- 自然環境の保全・美化に関わる新たな担い手の創出と確保
- 子どもたちへの環境教育の推進
- さつき松原の保全活動の支援、松くい虫防除事業の実施
- 荒廃森林整備事業の推進
- 放置竹林対策の推進



ラブアースによるビーチクリーン活動

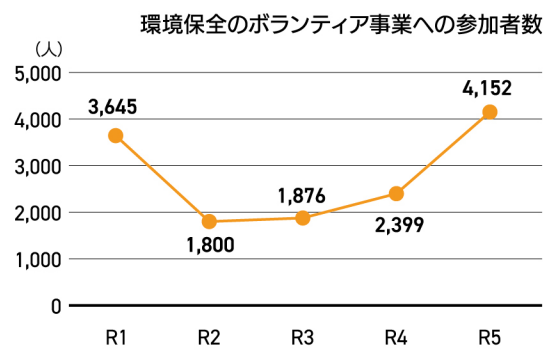
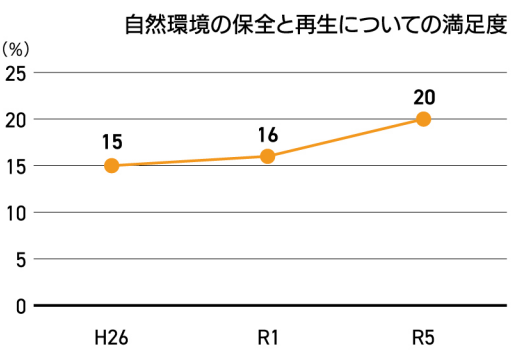


さつき松原での小学校アダプト活動

成果指標 (KPI)

指標名	現状	中間目標 (R11 年度)	最終目標 (R16 年度)
自然環境の保全と再生についての満足度	20%	23%	26%
環境保全のボランティア活動に参加した人数	4,152 人	4,600 人	5,100 人

〈関連する計画〉 #環境基本計画 #森林整備計画



※ラブアース・クリーンアップ…「地球環境と地域活動」の実践として「福岡」で始まった環境美化活動のこと。

生活環境の保全・美化

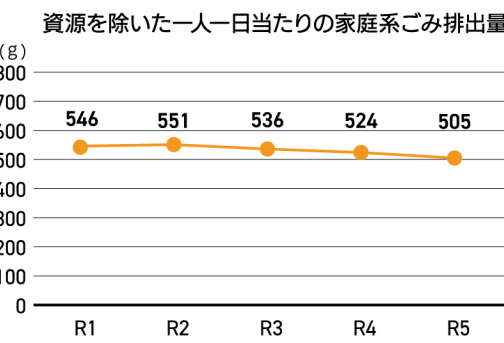


- ▶ 誰もがごみの減量・資源化やペットの適正飼育などを実践できている
- ▶ 生活基盤施設の適正な維持管理と老朽化対策を推進できている

現状



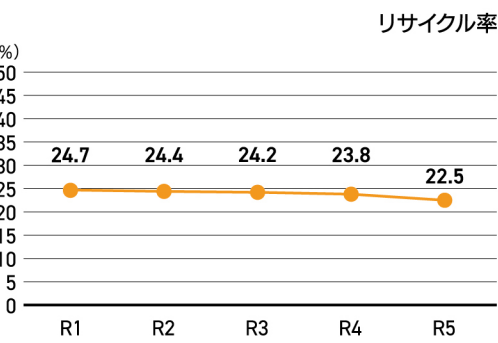
- ▶ ごみの総排出量は減少傾向にありますが、ごみの焼却処理では、多くの温室効果ガスが排出されています。
- ▶ リサイクル率の低下などに伴い、新たな資源の消費を繰り返しています。
- ▶ 玄界環境組合が運営するごみ処理施設は老朽化が進行しています。
- ▶ 依然として、騒音、悪臭などの公害や不法投棄、屋外焼却、ペットの飼育などに関する通報、苦情などが寄せられています。
- ▶ 上下水道施設の老朽化が進んでおり、生活水の安定供給や生活排水の適正処理への影響が懸念されます。
- ▶ 生活環境の保全・美化活動に関わる担い手の固定化、高齢化が進行しています。



課題



- ▶ ごみの総排出量を削減するとともにリサイクル率を向上していく必要があります。
- ▶ 玄界環境組合と連携して新ごみ処理施設の整備を進めていく必要があります。
- ▶ 公害などの発生により生活環境に影響が生じないよう未然に防止していく必要があります。
- ▶ 老朽化した上下水道施設の適正な維持管理と耐震化を含めた更新を進めていく必要があります。
- ▶ これまで生活環境の保全・美化活動に関わっていなかった人たちを含んだ啓発活動を行い、新たな担い手の確保が必要です。



主な取り組み

- ごみの減量・資源化（3R+Renewable）やごみの適正処理に関する情報発信や啓発の実施
- 生活環境の保全・美化活動に関わる担い手の確保育成
- 新ごみ処理施設整備の推進
- 公害や野外焼却の防止、ペットの飼育マナー向上に関する啓発や注意喚起、情報発信の実施
- 終末処理場の計画的な更新
- 上水道基幹管路の計画的な更新



ダンボールコンポスト講座



赤間雨水幹線改築工事見学会



成果指標 (KPI)

指標名	現状	中間目標 (R11 年度)	最終目標 (R16 年度)
資源を除いた一人一日当たりの家庭系ごみ排出量	505g	467g	434g
上水道基幹管路耐震適合率	39.8%	53.7%	60.0% 以上

〈関連する計画〉 #環境基本計画 #一般廃棄物処理基本計画 #バイオマス産業都市構想 #下水道基本構想 #宗像地区事務組合水道ビジョン2027

※3R+Renewable…ごみを減らし、環境を大切にしたいまちや暮らしを実現するための考え方。
Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)にRenewable(リニューアブル)を加えた総称のこと。

※生活基盤施設…上下水道施設、ごみ処理施設のことをいう。

脱炭素を目指したまちづくり



誰もが脱炭素につながる行動を実践することで、
温室効果ガスの排出量を削減できている

現状

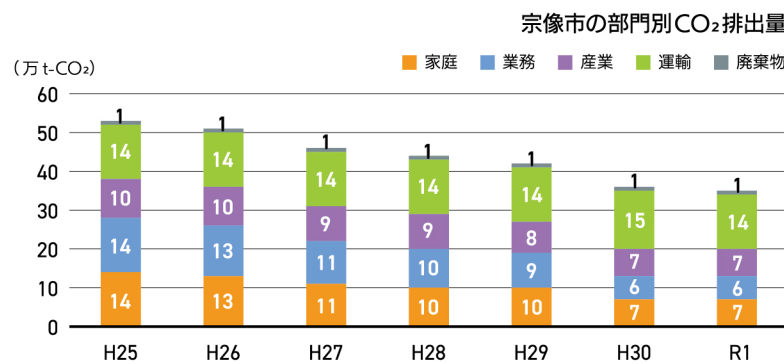


- ▶ 人類の活動は地球の環境収容力を超過し、気候変動、生物多様性の損失、汚染の「3つの危機」に直面しています。本市においても、豪雨災害、農作物の生育不良、磯焼けによる漁獲高の減少などが懸念されます。(再掲)
- ▶ 環境は人類の存続のための基盤であり、その上に社会・経済が成り立っています。本市では、CO₂総排出量のうち、家庭部門と運輸部門からの排出量が大きな割合を占めています。
- ▶ 脱炭素の実現に向けては、暮らしやライフスタイルの分野でも大幅なCO₂排出削減が求められています。
- ▶ 「脱炭素」という言葉が認知されている一方で、具体的な行動に結びついていない状況にあります。

課題



- ▶ 市民や環境活動団体、民間事業者などの多様な主体が、自然環境の保全・美化に取り組むことができる仕組みを整えていく必要があります。(再掲)
- ▶ 多様な主体と協働して、脱炭素に向けた行動変容のきっかけづくりに取り組む必要があります。また、経済社会システムを自然再興なものに転換する必要があります。
- ▶ 公共施設などにおける省エネルギー化と再生可能エネルギーの活用など、市の率先行動をきっかけとして、市民などに対して繰り返し啓発、周知を行うことで、「脱炭素」の認知度を向上させる必要があります。
- ▶ CO₂排出削減だけでなく、災害レジリエンスの強化、産業振興、地域経済循環の活性化など、地域課題の解決にも資するよう脱炭素の取り組みを進める必要があります。



主な取り組み

- 市の公式SNSやイベント開催などによる市民、事業者に対する啓発などの推進
- 市民及び市内事業者の脱炭素活動の促進
- 公共施設における太陽光発電設備設置や公用車の電動車への切替などによる率先行動の取り組み
- 藻場の再生や営農型太陽光発電など、漁業振興や農業振興にも資する脱炭素施策の推進



市が導入した電動 (EV) バス



公共施設の太陽光発電



成果指標 (KPI)

指標名	現状	中間目標 (R11 年度)	最終目標 (R16 年度)
宗像市の温室効果ガス総排出量	379,052t-CO ₂	340,895t-CO ₂	302,738t-CO ₂
宗像市の事務・事業に伴う温室効果ガス総排出量	8,612t-CO ₂	7,564t-CO ₂	6,515t-CO ₂

〈関連する計画〉 #環境基本計画 #地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

※ブルーカーボン…沿岸・海洋生態系が光合成によりCO₂を取り込み、その後海底や深海に蓄積される炭素のことをいう。